

【報道関係者各位】

2024年9月吉日

くらしの植物苑 特別企画  
季節の伝統植物

# 冬の華・サザンカ



2024年 2025年  
11月26日(火)～1月26日(日)  
無料入苑日 1月12日(日)

国立歴史民俗博物館  
くらしの植物苑(千葉県佐倉市)

謹啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は、当館の運営等につきまして、格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、当館くらしの植物苑におきまして、2024年11月26日(火)～2025年1月26日(日)の期間、特別企画 季節の伝統植物「冬の華・サザンカ」を開催します。

サザンカは「サザンカ群」、「シシガシラ(カンツバキ)群」、「ハルサザンカ群」の3グループに大別されますが、当苑ではそれらの系統を維持することにつとめて参りました。

本展では、日本固有種であるサザンカを収集し約140品種を鉢植えで展示いたします。

つきましては、この展示開催を貴媒体にてぜひ多くの方々にご紹介くださいますようお願い申し上げます。

謹白

## 「冬の華・サザンカ」展示解説会のご案内

11月26日(火) 13:30 ～ くらしの植物苑にて開催

当展示プロジェクト委員による展示解説を行います。事前予約等は必要ございません。  
お名刺をご持参の上、受付で腕章をお受け取りになり、ご入苑ください。

詳細につきましては下記【このリリースに関するお問い合わせ】までご連絡ください。  
※関連イベントが変更・中止される場合があります。最新の情報は、ホームページ等でご確認ください。

### 【このリリースに関するお問い合わせ】

大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館 広報課 広報・普及係 石渡・室橋・高木  
〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117

TEL 043-486-6488 (直通), FAX 043-486-4482, E-mail:koho@ml.rekihaku.ac.jp

れきはくホームページ <https://www.rekihaku.ac.jp> (※週2回更新、最新情報はこちらをご覧ください)

※内容は変更する場合があります。ご了承ください。

## 趣 旨

サザンカは日本を原産地とし、ツバキとともに冬枯れの季節に庭を彩る数少ない植物です。くらしの植物苑では、特別企画「季節の伝統植物」の一環として、2001年より冬を代表する園芸植物であるサザンカを収集し、展示してきました。これらには、「江戸サザンカ」「肥後サザンカ」と呼ばれる独自の品種群も含まれています。

サザンカは、自生種に近い「サザンカ群」、獅子頭の実生またはその後代と考えられている「シシガシラ（カンツバキ）群」、サザンカとツバキの間で自然にできた雑種またはその後代と考えられている「ハルサザンカ群」の3グループに大別され、花はグループごとに10月中頃から翌年2月にかけて上記の順に咲いていきます。これらの品種は、いずれも実生の変種から選抜されたもので、こうした品種を維持・普及する方法は、日本の園芸文化の大きな特徴といえます。くらしの植物苑では、人とサザンカの関わりを遺伝資源と文化的な資産の両面から着目し、生きた植物と歴史資料を併せて考察した成果を展示してきました。

本展では、**約140品種のサザンカ**を鉢植えで展示いたします。

## 主な展示内容

2000年に当苑へ寄贈された品種とその後新たに収集したサザンカ（サザンカ群70品種、シシガシラ（カンツバキ）群43品種、ハルサザンカ群32品種）を鉢植えにて、苑内の東屋周辺、ハウスで展示します。一部、常設スペースでの地植えもあります。



- 出展品数 計 約140品種
- 出展鉢数 約300鉢

※生育状況により出展数は変わる場合があります。

## 概 要

※内容は変更になる場合があります。

|             |  |
|-------------|--|
| 企 画 名 称     | くらしの植物苑特別企画 季節の伝統植物 「冬の華・サザンカ」   |
| 主 催         | 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立歴史民俗博物館  |
| 会 場         | 国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑 〒285-8502 千葉県佐倉市城内町 117  |
| 開 催 期 間     | 2024年11月26日（火）～2025年1月26日（日）<br>※苑内メンテナンス・悪天候等、諸般の理由により、開苑日・開苑時間等の変更、各種催し物を延期または中止する場合があります。<br>最新の情報は館のホームページ及びSNSでご確認ください。   |
| 休 苑 日       | 12月2日・9日・10日・16日・23日、年末年始（12月27日～1月4日）、1月6日・7日・14日・20日   |
| 開 苑 時 間     | 9:30～16:30（入苑は16:00まで）   |
| 料 金         | 個人100円、団体50円<br>※2025年1月12日（日）は入苑無料。<br>※高校生以下は入苑無料です。<br>※団体は20名以上です。<br>※障がい者手帳等保持者は手帳等提示により、介助者と共に入苑無料。<br>※博物館の総合展示・企画展示は別途料金がかかります。<br>※博物館の半券の提示で、当日に限りくらしの植物苑にご入場できます。<br>また、植物苑の半券の提示で、当日に限り博物館の入館料が割引になります。 |
| お 問 い 合 わ せ | ハローダイヤル 050-5541-8600  |
| 公 式 サ イ ト   | <a href="https://www.rekihaku.ac.jp">https://www.rekihaku.ac.jp</a>  |

## 関連イベントのご案内

**【くらしの植物苑観察会】** 苑内にて開催、要入苑料、事前申し込み不要  
第309回「サザンカの楽しみ方」 講師 加地 典子（埼玉県花と緑の振興センター 園芸相談員）  
日 時 12月21日（土）13：30～15：30

国立歴史民俗博物館

### くらしの植物苑（佐倉中学校となり）

9:30～16:30（最終入苑 16:00）

くらしの植物苑は、生活文化を支えてきた植物を系統的に植栽し、その理解をより深めることを目的として、博物館の南東に位置する旧佐倉城の一画に開設された自然を生かした植物苑です。特別企画に加え、「くらしの植物苑観察会」なども開催しています。

#### アクセス：

【京成電鉄・JR東日本利用の場合】

佐倉駅からバスで「宮小路町」か「国立歴史民俗博物館」下車徒歩約10分

【自動車利用の場合】

東関東自動車道 四街道ICまたは佐倉ICから約15分

佐倉中学校隣り（駐車場完備）＊カーナビの目的地は「佐倉中学校」で検索してください



## 広報画像の提供について

ご希望の写真を送付いたしますので、プレスリリースの画像番号をご連絡ください。

画像（JPEG）はメールで送信いたします。

問い合わせ先は本リリース1ページ目の【このリリースに関するお問い合わせ】をご覧ください。

### <広報画像使用に際しての注意事項>

- 本展広報目的でのご使用に限ります。（展示期間終了まで）
- 展覧会名、会期、会場名、掲載図版のキャプションを必ず掲載してください。
- 資料画像は全図で使用してください。文字を重ねるなど画像の加工・改変はできません。部分使用については事前申請・許諾が必要です。
- Web上に掲載する場合は、72dpi以下の解像度にしてください。
- 転載、再放送など2次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- 基本情報、図版使用の確認のため、校正紙（Web上の場合は掲載URL）をお送りください。
- 掲載、放送後は必ず、掲載誌（掲載面PDF）、同録テープを、1部お送り願います。

## 展示風景

1. 展示風景（東屋）



2. 展示風景



サザンカ群 / 開花期は10~12月

生態・形態的に、サザンカの自生種に近いグループで、一重か二重の花を咲かせます。花色は、白、桃、紅、紅色の覆輪ぼかしがあり、香りが強い種類です。大輪花も多く、「江戸サザンカ」の代表的なものも、この品種群のなかまです。

3. 花自慢 (はなじまん)



4. 白縮緬 (しろちりめん)



5. 笹田紅 (ささだべに)



シシガシラ (カンツバキ) 群 / 開花期は11~3月

中部地方に古木が多い「獅子頭」がもとになってつくられたもので、真冬に、八重や獅子咲きなどの華やかな花を咲かせます。花色は、白、桃、紅、紅色の覆輪ぼかしがあり、香りは弱い種類です。

6. 長春 (ちょうしゅん)



7. 武蔵野 (むさしの)



8. 曳馬乙女 (ひくまおとめ)



ハルサザンカ群 / 開花期は12~4月

サザンカとツバキの自然交雑で生まれたと考えられていて、開花が遅く、初冬から春にかけて、一重や八重、千重咲きまでさまざまな花を咲かせます。花色は、白、桃、紅、紅色の覆輪ぼかし、縦絞りがあり、香りはほとんどないものから強いものまであります。

9. 東牡丹 (あづまぼたん)



10. 宝塚 (たからづか)



11. 鎌倉絞 (かまくらしぼり)

